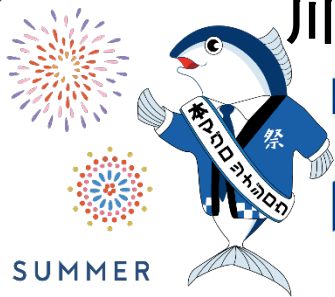


川崎市議会議員



本間 賢次郎 ケンジロウ

市政レポート No. 46 (令和3年8月号)

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17

TEL044-742-8072

FAX044-211-1081

ごあいさつ



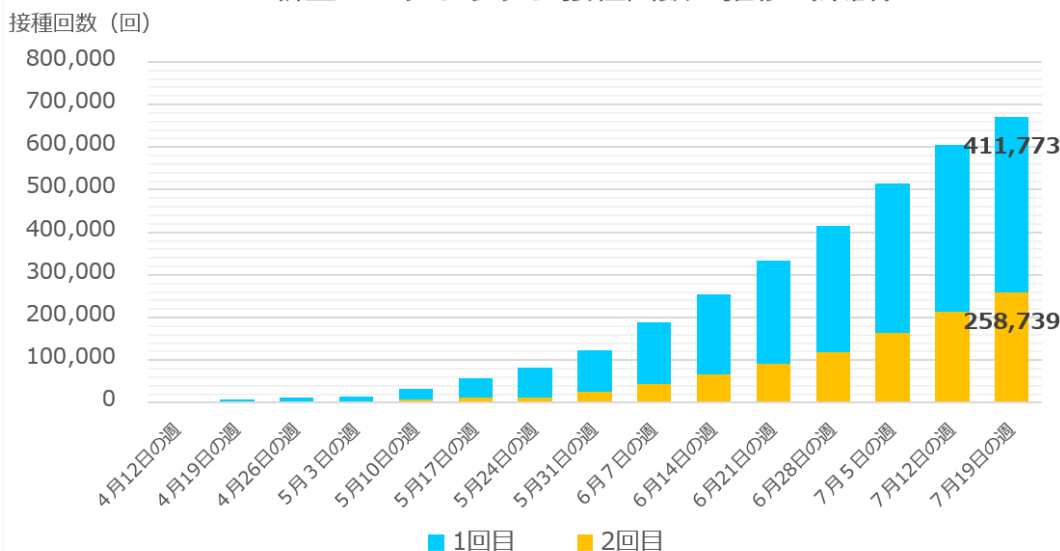
7月23日に1年延期となった東京オリンピックが開幕し、日本の選手たちの活躍、奮闘ぶりに感動、勇気づけられる日々が続く、スポーツの持つ力、魅力を改めて感じました。今月24日からはパラリンピックが開幕。パラリンピアンへの躍動に注目です。

一方で、政府は首都圏3県（神奈川県・千葉県・埼玉県）に8月2日から同31日まで緊急事態宣言を発出しました。感染拡大防止と経済活動

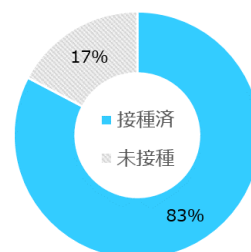
の両立を目指してきましたが、さらに厳しい状況となることは残念でありません。市内経済、そして市民生活の安定に向けて、国、県との連携、協力を継続し、まずは、新型コロナワクチンを安定して供給できる状態、対象となる市民に安心して接種頂ける環境づくりに引き続き取り組んで参ります。

7月までの市内のワクチン接種状況について

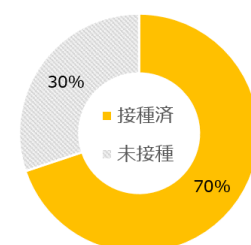
新型コロナワクチン接種回数の推移（累計）



65歳以上の方の接種状況 (1回目接種)



65歳以上の方の接種状況 (2回目接種)



※令和3年7月26日24時現在・川崎市ウェブサイトより

今後のワクチンの供給量等について

本市には、これまで（8月1日まで）に781箱・904,800回分のファイザー社のワクチンが供給されています。今月29日までには、さらに212箱・248,040回分が国から供給されることとなっています。

第11クール（8/2～8/15） 116箱・135,720回分

第12クール（8/16～8/29） 96箱・112,320回分

市に納品されたワクチンは、医療機関への搬送等を行うため、供給から接種までに一定の期間を要します。そのため、供給量と接種実績の数値には時期の開きが生じます。

また、各区に設置されている集団接種会場については、8月3日（火）以降の予約定員数（1回目接種）を拡大し、川崎、幸、中原、宮前、多摩の各区は一日あたり174人に、高津区は同348人に、麻生区は同324人となります。

次に、8月1日まで開設予定だったNEC玉川ルネッサンスシティホールの大規模接種会場については、10月10日（日）まで開設期間を延長し、週6日（火曜日～日曜日）開設し、一日あたりの定員（1回目接種）は1,500人となります。尚、当会場が使用するワクチンは引き続き、武田/モデルナ社製です。

武田/モデルナ社製ワクチンは、当初、18歳未満の方の接種はできませんでしたが、8月3日より接種日に12歳以上の方は接種可能となりますので、大規模接種会場での接種も可能となります。但し、12歳～15歳の方が大規模接種会場で接種する際には、中学生以上であっても保護者の同伴が必要です。予約する際には保護者の方のご予定もご確認ください。

8月末から9月にかけての国からの供給量は未定となっており、今後も予約受付日等を細かく設定しながらの対応になる見込みですが、各年齢層、各世代の接種状況を踏まえ、市民の混乱が少なく、安定してワクチンが行き届くように、そして、安心して接種できる環境づくりや情報発信に努めて参ります。

川崎市では、接種状況と併せて、供給状況についてもウェブサイト（<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000129039.html>）にて、公表していますので、ご参考までにご覧ください。供給状況等ページ➡

